

平成 19 年度障害者自立支援調査研究プロジェクト 事業実施報告概要

事業名	HIV 感染に係る障害者自立総合支援プログラム等研究開発事業
事業目的	HIV 感染に係る障害者に対する差別偏見はいまだに根強い。そのため、自ら社会参加を閉ざしている当事者も多い。そのためには、当事者の自己意識改革を促し、社会とのつながりを構築することが必要である。なかでも、当事者が自ら一歩踏み出すための支援、就労のための動機づけ及び準備支援の必要性を感じ、本事業を行った。
事業概要	慢性疾患を持つ患者が自己管理の方法を学ぶセルフマネジメントプログラムは、患者自らが行う支援プログラムである。このプログラムに注目し、HIV 感染者が社会参加への機会として、ワークショップに参加することで、自己管理の方法を学びつつ、社会への一歩を踏み出す機会とした。一方、社会参加のより具体的な形として、就労支援にも取り組んだ。企業、ハローワークへのフォーカスグループインタビューを実施し、ハローワークの積極的活用を勧めた HIV 感染者の就労のためのガイドブック「はたらく BOOK」を発行した。
事業実施結果及び効果	札幌、名古屋地区をモデルケースとして、セルフマネジメントプログラムのワークショップを実施した。今後の治療継続や日常生活を送る上で必要な自己管理を学ぶ機会となった。また就労インタビューを通して、ハローワークの利用が極めて少ないこと、企業における就労環境は厳しいことが明らかとなった。これらの結果をもとに、HIV 感染者の就労環境向上のために「はたらく BOOK」を発行した。本冊子はハローワークをうまく活用することを勧めており、今後ハローワークとの協働により HIV 感染者の就労が進むことが期待される。
事業主体	〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9 番 20 号 新小川町ビル 5 階 社会福祉法人はばたき福祉事業団